

環境問題ホームページの試作

— 環境問題学習用リンク集の作成 —

野呂明美 (生物資源学部 生物生産機械学)

【はじめに】 近年、地球環境の悪化が進行し、環境浄化への着手が待った無しの危機的状況になってきた。人類が製造した合成化学物質により生命の根源が脅かされるようになった今、人々の意識は変化し、環境保全に積極的に取り組み始めた。多くの人々が各家庭・事業所から排出されるゴミを出来る限りリサイクルし、ゴミを減らすよう努力するようになってきた。地球温暖化・大気汚染問題についても関心が高まり、少々高額でも環境に配慮した自動車を購入しようとするようになった。また、地方自治体ではゴミの分別を細分化しリサイクル率を高める工夫を始めたり、ゴミの減量、省エネに対して補助金を出したりするようになった。一方ここ数年間でインターネットが急激に普及し、これら環境問題に対する関心の高まりを反映して、インターネット上には環境問題を取り上げた数多くのホームページが掲載されている。官公庁、企業、個人がそれぞれの視点から、多様な情報、意見をWeb上で公開している。

環境問題学習用ホームページの作成は、環境問題について考える場を提供し、環境問題に取り組む人を増やすこと、WWWにより速く情報を広め一刻も早く人々が環境浄化に取り組むように啓蒙することを目的としている。

【リンク集の作成方法】

1. ホームページの検索 サーチエンジンにg○○を使用し、環境関連のキーワード(例:環境ホルモン、ダイオキシン、測定など)を2~4個重ね

その交わり部分を抽出し、ホームページを1つ1つチェックして興味深いホームページにブックマークを設定した。

2. ホームページの分類 集めたHPを公共機関、民間会社等の団体別に整理し、ついで話題になっている環境問題のテーマ別に分類・整理し、目次を作成した。

3. ホームページの制作 HTML言語を使い、著作権、見やすさ等に配慮し、ホームページを作成した。図1に制作したホームページの1頁目をプリントアウトしたものを示す。ホームページには『私は地球』と名付け、タイトルの下に自分が地球だったらどう思うかという視点から、メッセージを記した。タイトルには一太郎を使い文字に変化を与えて作った画像ファイル(GIF FILE)を用いた。次に目次を張り込み、目次の順に従い各ホームページを紹介した。紹介にはホームページを見た感想を添えた。

4. リンクの設定 制作したホームページから検索して見つけたホームページへリンクを張った。また、目次から各項目へ飛べるようリンクを設定した。

5. 編集と最終チェック 文字サイズ、フォント、カラーを見やすく美しく見えるように編集した。また、インデントを設定し、分かりやすい画面になるよう編集した。リンクがうまく張られているかチェックした。

【技術発表に使用するための工夫】 今回の発表会は、液晶プロジェクターにパーソナルコンピュータを接続して発表に使用できるよう準備されていた。

私には地球

by A. Noro, 2nd Edition, Nov.18, 1999

私は地球、私の青き空、海、緑の大地を守って下さい。あと数十億年たてば、太陽系の一惑星である私は巨星と化した太陽に飲み込まれ天寿を全うすることでしょう。しかし、それまでは美しく健康でありたいのです。私は今、人という生物が作り出した化学物質に侵されています。人類よ、今ならまだ何とか私を救うことが出来るかもしれません。一刻も早く汚染物質を取り除いて私を以前の美しい姿に戻して下さい。

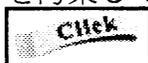
*** 目 次 ***

- ・ I 地球の汚染の歴史
- ・ II 公共機関の環境サイト
- ・ III 民間会社の環境サイト
- ・ IV 民間団体、個人レベルの環境サイト
- ・ V 話題になっている環境問題のテーマ別リンク集

環境ホルモン・ダイオキシン
ダイオキシンなどの物質の分析方法について
大気汚染物質
オゾン層破壊
地球環境について個人で学習したい方のために
学校教育に環境教育を取り入れるために
家庭で生ゴミ処理を実践したい方のために

I 地球の汚染の歴史

150年前の地球環境を取り戻すにはどうすればよいのでしょうか？ まず、地球を汚染してきた歴史について見てみましょう。



人類は長い地球の歴史の中でわずか150年間で地球環境を悪化させました。しかし、このままではいけない。環境を浄化するにはどうすればよいのか。公的機関・市民、あるいは民間会社など色々な機関、人が活動を始めています。

図 1. 制作したホームページの1頁目

そこで、スライドをパワーポイントで作成し、パワーポイントで作成したスライドから制作したホームページへリンクを張り発表に使用することが可能となった。ただ、オンラインで使用するには接続に時間がかかったり、リンク先のホームページに接続するための回線に何らかの障害が発生していたりすると接続できなかつたりなど、トラブルの発生が予想されるためオフラインで構成し発表した。オフラインで発表するために、インターネットエクスプローラで取ってきたホームページの画像データがうまく動くようにソースを書き替えた。また、ホームページのソースに合わせて画像ファイルをディレクトリに格納し、うまくパスが通るようにした。カウンターなどユニックス上で動いている部分は表示できなかったが、ホームページを紹介する上で大きな問題ではないのでそのままにした。

【技術発表会で紹介したホームページ】 制作したリンク集の中に掲載したホームページの中から、表1に今回技術発表で紹介したホームページについて、そのURLと技術発表会で紹介した部分をまとめた。

【結論】 環境浄化は行政・企業・個人が一丸となりお互いに協力して取り組まねば達成できない。行

政レベル、企業レベル、個人レベルでは各々が果たすべき役割やできることは異なる。しかし、それぞれが協力し合い巧く連携して循環型社会を早急に構築し、未来世代に美しい地球を受け継がねばならない。また、環境破壊は気圏、地圏、水圏における複合汚染により引き起こされており、環境汚染が人類に与える影響も深刻化している。環境問題は、一人でも多くの人に関心を持ち、取り組む人の裾野を広げることが重要である。それと同時に一刻も早く取り組むことが肝要である。インターネットによる情報提供はこうした運動の高まりの一助となると予測する。インターネットのユーザーには若い世代が圧倒的に多く、環境問題を話題にしたホームページが未来社会を担う彼らの目にふれる機会を作ることは意義あることだと思う。

《謝辞》

オフライン発表を勧めて下さった工学部技術部伊藤篤氏に感謝いたします。

参考文献

シーア・コルボーン他著、長尾力訳「奪われし未来」、翔泳社、1997。

表1. 技術発表会で紹介したホームページ

| ホームページ 1) | URL 2) | 紹介した部分 |
|----------------|---|----------------------|
| 地球環境問題史 | http://www.gld.mmtr.or.jp/~toriih/kankyoh.htm#地球環境問題史 | 「地球汚染の歴史」の年表 |
| 福井県環境科学センター | http://www.erc.pref.fukui.jp/ | 大気汚染状況を県民に情報公開 |
| 木村化工機 | http://www.kcpc.co.jp/japanese/engineer/kcpc_p34.html | 塩素を含む廃液からの塩酸の回収 |
| エコロジーシンフォニー | http://www.ecology.or.jp/index.html | 読み物風に書かれた生き物からのメッセージ |
| 三浦さんちのホームページ | http://www.fsinet.or.jp/~miura/endocrin.htm# | 世界各地からの生物異常の報告 |
| 島津環境ホルモン分析センター | http://www.shimadzu.co.jp/eds/ | 環境ホルモンの分析法 |
| ILASとRIS | http://www.eic.or.jp/ilas/index.html | オゾン層の測定について |
| 佐賀教育センター | http://www.saga-ed.go.jp/materials/edq01439/kankyoh/kankyoh.html | 環境問題を学校教育に取り入れ易く解説 |
| EM&環境保護 | http://www.vega.or.jp/~shige/index1.html | ボカシを使った生ゴミ処理法 |

1) 法人(公共機関、会社)のホームページは提供先の名称を、個人のホームページについてはホームページのタイトルを記した

2) 1999年11月18日現在のURLです。その後、変更されたり、無くなる可能性があります。